

生きていける賃金を出せ！ 希望者全員を正社員にしろ！

2020 CTS 春闘ニュース

職場討議資料 No. 4 2020年3月5日

動労千葉 (国鉄千葉動力車労働組合)

幕張の夜勤削減、絶対反対！ ～中止をもとめ緊急申し入れ～

動労千葉は3月3日、幕張事業所（クリーン）での夜勤作業削減の動きに対して右のような緊急申し入れを行った。

CTS幕張事業所では、以前にも夜間勤務者が削減されたことがあり、これ以上、減らされたら、現場の負担増はもちろん、少しでも輸送混乱になれば超過勤務は避けられない体制になってしまう。

ましてや、新型コロナウイルスへの感染対策で、これから作業量はますます増加することが予想される中で、要員を削減するのは絶対に間違っている。

●札幌市営地下鉄では車両の消毒を開始

感染が拡大している北海道の札幌市では今月2日から市営地下鉄と路面電車の車両消毒を始めた。車両基地に入った車両のすべての手すりや吊り手を、アルコールをしみこませたクロスで拭きあげる大変な作業だ。



幕張事業所清掃業務の要員削減の
中止を求める緊急申し入れ

2020年3月3日

幕張事業所の清掃業務に関して、3月ダイヤ改において要員削減を行う旨の説明が行われているようであるが、今後、新型コロナウイルスへの感染防止対策が急務になるなど、要員がこれまで以上に必要になると考えられることから、要員削減計画の詳細を明らかにするとともに、削減計画を直ちに中止すること。(以上)

●これ以上の作業量拡大は無理！

JR東日本でも、すでに新幹線と成田エクスプレスについては、消毒液をクロスに付けて拭きあげる作業を始めており、他の在来線についても消毒実施を検討しているようだ。また、駅清掃においても作業量の増加が予想される。

JR東日本が、利潤追求のためにグループ会社の賃金も要員を抑えこんできたため、どの事業所でもぎりぎりの体制だ。現状でも、次々と入区する車両の清掃をこなすだけでいっぱい。これに加えて、消毒作業までやれ

と言われても絶対に無理だ。

十分な感染対策を行い、公共交通機関としての責任を果たすためには、必要なお金を投入し、要員を増やすことが必要なことは誰でも分かることだ。

●要員不足で感染・安全対策も後退する

なによりも作業体制に余裕がなくなれば、ど

うしても現場労働者自身の感染対策もおろそかになる。ただでさえケガが多い夜間作業の安対策も後退してしまう。

現場労働者の安全よりも利潤追求、金もうけを優先するJR東日本-C T Sは絶対に許せない。要員削減計画をただちに中止しろ。

春闘要求第一弾！ (2/26)

「同一労働・同一賃金」への対応求め申し入れ

春闘要求の第一弾として「同一労働同一賃金」への対応を中心として下記の申し入れを行いました。今後、第2弾として新賃金要求を提出します。

労働条件改善等に関する申し入れ書

2020年2月26日

4月1日から「同一労働同一賃金」が施行されること等に踏まえ、C T Sにおいても早急な対応が求められていることから下記の通り申し入れるので団体交渉により誠意をもって回答すること。

1. 年間休日をJRと同様の年間114日とすること
2. 半休制度を導入すること
3. 全員に住宅手当を支給すること
4. 希望者全員を正社員に登用すること
5. 契約社員を月給制に戻すこと
6. 契約・パート社員について以下の施策を実施すること
 - ①扶養手当を支給すること
 - ②定期昇級制度を導入すること
 - ③社員と同様の基準での夏期手当、年末手当を支給すること
 - ④社員と同様の退職金制度を新設すること
 - ⑤事業所間の時給格差を解消すること
 - ⑥パートの年休日賃金について、時間額に平均勤務時間を乗じた額を支給すること
7. 正社員の60歳以降(定年後、嘱託移行時)の賃金引き下げを行わないこと
8. 66歳以降の賃金引き下げを行わないこと
9. 高年齢者雇用安定法の改正が検討されていることから、70歳までの雇用継続制度を導入すること。(以上)